

2017年8-10月:JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
論文		
1	著者名	Arakawa H ^{*1,2} , Kamioka H ^{*1} , Jomura T ^{*3} , Koyama S ^{*1} , Idota Y ^{*1} , Yano K ^{*1} , Kojima H, Ogihara T ^{*1,4}
	著者が他機関所属の場合には所属機関名を記載する	*1 Laboratory of Biopharmaceutics, Department of Pharmacology, Faculty of Pharmacy, Takasaki University of Health and Welfare *2 Faculty of Pharmacy, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University *3 Biotech Application Group Research and Development, Toyo Gosei Co., Ltd. *4 Laboratory of Clinical Pharmacokinetics, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Takasaki University of Health and Welfare
	論文題名	Preliminary Evaluation of Three-Dimensional Primary Human Hepatocyte Culture System for Assay of Drug-Metabolizing Enzyme-Inducing Potential.
	雑誌名、巻(号)、ページ、年	Biol Pharm Bull.40(7):967-974, 2017
2	著者名	Ogihara T ^{*1,2} , Arakawa H ^{*1,3} , Jomura T ^{*4} , Idota Y ^{*1} , Koyama S ^{*1} , Yano K ^{*1} , Kojima H
	著者が他機関所属の場合には所属機関名を記載する	*1 Laboratory of Biopharmaceutics, Department of Pharmacology, Faculty of Pharmacy, Takasaki University of Health and Welfare *2 Laboratory of Clinical Pharmacokinetics, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Takasaki University of Health and Welfare *3 Faculty of Pharmacy, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University *4 Biotech Application Group Research and Development, Toyo Gosei Co., Ltd.
	論文題名	Utility of human hepatocyte spheroids without feeder cells for evaluation of hepatotoxicity
	雑誌名、巻(号)、ページ、年	J Toxicol Sci.42(4):499-507, 2017

和文総説		
1	著者名	小島 肇
	著者が他機関所属の場合には所属機関名を記載する	
	論文題名	動物実験代替法開発の現状と今後の課題
	雑誌名, 巻(号), ページ, 年	医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス, 48(9), pp.600-607, 2017
2	著者名	井上治久 ^{*1} , 小島 肇, 澤田光平 ^{*2} , 谷憲三郎 ^{*3} , 山本恵司 ^{*4} , 梶賢一郎 ^{*5}
	著者が他機関所属の場合には所属機関名を記載する	^{*1} 京都大学iPS 細胞研究所 ^{*2} エーザイ株式会社 ^{*3} 東京大学医科学研究所 ^{*4} 武田薬品工業株式会社 ^{*5} 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
	論文題名	再生医療技術を用いた創薬支援ツールの意義と展望
	雑誌名, 巻(号), ページ, 年	再生医療,16(3):9-16, 2017
3	著者名	小島 肇
	著者が他機関所属の場合には所属機関名を記載する	
	論文題名	化学物質の安全性評価に利用されるインビトロアッセイ(in vitro試験)法
	雑誌名, 巻(号), ページ, 年	生物工学会誌, 95:455-460, 2017

国内学会		
1	発表者名	小野 敦* ¹ , 渡辺 真一* ² , 菅原 経継* ² , 若林 晃次* ³ , 田原 宥* ³ , 堀江 宣行* ⁴ , 藤本 恵一* ⁴ , 草苺 啓* ⁵ , 黒川 嘉彦* ⁵ , 寒水 孝司* ⁶ , 中山 拓人* ⁶ , 草生 武* ⁶ , 河上 強志* ⁷ , 小島 幸一* ⁸ , 小島 肇, Jon RICHMOND* ⁹ , Nicole KLEINSTREUER* ¹⁰ , Bae-Hwa KIM* ¹¹ , 山本 裕介* ¹² , 藤田 正晴* ¹² , 笠原 利彦* ¹²
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	* ¹ 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科薬学系 毒性学講座 * ² ライオン(株) 環境・安全性評価センター * ³ 三井化学(株) RC・品質保証部 化学品安全センター * ⁴ 住友化学(株) 生物環境科学研究所 * ⁵ 日産化学工業(株) 生物科学研究所 安全性研究部 * ⁶ 東京理科大学 工学部情報工学科 * ⁷ 国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 * ⁸ 食品薬品安全センター * ⁹ UK home office * ¹⁰ NTP Interagency Center for the Evaluation of Alternative Toxicological Methods (NICEATM) * ¹¹ College of Natural Sciences Keimyung University * ¹² 富士フイルム(株) 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター
	演題名	新規in chemico皮膚感作性試験ADRA法の多施設バリデーション試験:第1報
	学会名, 発表年月及び場所	第44回 日本毒性学会学術年会(2017.7)(横浜)
2	発表者名	古川正敏*, 伊藤浩太*, 榊原隆史*, 越田美*, 奥村宗平*, 立野沙香*, 河村公太郎*, 松浦正男*, 小島肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	* 株式会社化合物安全性研究所
	演題名	ウシ摘出角膜を用いる眼刺激性試験(BCOP試験)におけるPAS染色の有用性
	学会名, 発表年月及び場所	第44回 日本毒性学会学術年会(2017.7)(横浜)
3	発表者名	小島 肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	
	演題名	Adverse Outcome Pathwayの基礎, 現状と動向
	学会名, 発表年月及び場所	日本保健物理学会専門研究会「低線量・低線量率リスク推定法専門研究会」, 電力中央研究所(2017.9)(東京)
4	発表者名	小島 肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	
	演題名	国際環境における化粧品の 安全性評価の動向
	学会名, 発表年月及び場所	第7回JC/OEMセミナー(2017.10)(東京)
5	発表者名	小島 肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	
	演題名	化粧品の国内外規制動向と安全性のリスク評価
	学会名, 発表年月及び場所	第7回CSJ化学フェスタ2017(2017.10)(東京)

国際学会		
1	発表者名	Kojima H
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	
	演題名 (和訳を括弧書きで記載)	Revision of Judgment Criteria for Poisonous and Deleterious Substances -Utilizing knowledge of effective alternatives to animal testing-
	学会名, 発表年月及び場所	NC3R ,Toward global elimination of the acute toxicity ‘six-pack’ (2017.8) (Seattle, WA, USA)
2	発表者名	Kojima H, Nishikawa A
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	
	演題名 (和訳を括弧書きで記載)	JaCVAM update
	学会名, 発表年月及び場所	10th World Congress on Alternatives and Animals in the Life Sciences (WC10) (2017.8) (Seattle, WA, USA)
3	発表者名	Sakai Y, Kojima H
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	* Graduate School of Engineering, University of Tokyo
	演題名 (和訳を括弧書きで記載)	Latest activities and future directions of JSAAE for Asian cooperation toward 3Rs
	学会名, 発表年月及び場所	10th World Congress on Alternatives and Animals in the Life Sciences (WC10) (2017.8) (Seattle, WA, USA)
4	発表者名	Sakai Y, Kojima H
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	* Graduate School of Engineering, University of Tokyo
	演題名 (和訳を括弧書きで記載)	Latest activities and future directions of JSAAE for 3R
	学会名, 発表年月及び場所	14th Annual Meeting of Korean Society of Alternatives to Animal Experiments (KSAAE) (2017.8) (Seoul, Korea)
5	発表者名	Sakai Y, Kojima H
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	
	演題名 (和訳を括弧書きで記載)	The status of cosmetic safety regulation in Japan
	学会名, 発表年月及び場所	2017 China Cosmetics(Bayun) International Summit Forum(2017.10) (Gangzohu, China)